

2021年2月14日

東日本旅客鉄道株式会社

福島県沖で発生した地震による東北新幹線の被災状況と今後の見通しについて

- 2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震により、東北新幹線は那須塩原～盛岡間で運転を見合わせております。
- 現在、被災状況の確認を進めておりますが、新白河～古川間にて土木構造物の損傷や電柱が折損・傾斜するなど、新幹線設備に大きな被害が確認されました。
- このため、東北新幹線の全線運転再開までには概ね10日前後、要する見込みです。なお、一部区間の運転再開を含め、早期復旧に努めてまいります。
- 今後の運転計画や復旧見込みについては改めてお知らせいたします。ご利用のお客さまにはご迷惑をおかけいたします。

【主な被災状況】（写真は別紙）

- ①電化柱折損
- ②スラブ軌道突起部損傷
- ③駅構内漏水
- ④高架橋サイドブロック損傷
- ⑤高架橋柱損傷

※ 余震や新たな被害の発生、復旧作業の状況により、全線運転再開の時期が前後する場合があります。

※ JR東日本管内の在来線は、明日（15日）から全線区で運転を再開する予定です。

※ 運転再開まで、首都圏から仙台方面に向けては、常磐線での臨時列車運転、秋田方面に向けては羽越本線での臨時列車運転を行うとともに、高速バス事業者と航空会社にご協力をお願いしております。当社の運転計画の詳細については、別途お知らせいたします。

2021年2月13日福島県沖地震における被災状況

運転規制等の状態
— : 運転中止区間
 — : 規制無し



①電化柱折損 (郡山・福島間)



②スラブ軌道突起部損傷



③駅構内漏水 (郡山駅)



④高架橋サイドブロック損傷 (福島・白石蔵王間)



⑤高架橋柱損傷 (福島・白石蔵王間)